

設計・計画部門



さと よし けん
里 吉 健

生年月 1990年5月東京都生まれ
最終学歴 2016年東京都市大学
大学院工学研究科修士
課程修了
業務経歴 2016年(株)昭和設計入社
建築設計部
●担当した主なプロジェクト
2016年 守口市立さくら小学校
2018年 豊能運送整備工場
国東市立武蔵中学校
校舎等改修工事設計
2019年 神戸市西区総合庁舎
2020年～大阪公立大学
看護学部学舎整備事業
2022年～(仮称)越木岩センター

■青年技術者のことば

～人に寄り添う～

建築物を設計する中で、人のスケールに対して物凄く大きいことを考えなくてはいけない場面が多々ありますが、本質は人が使うものなので人の手にふれる細部まで突き詰めていく必要があると常々思っています。また利用者が普段過ごす場所、使う部分が快適で居心地の良いと思ってもらえる建築が理想だと感じています。

そのために建築家も建築物も、ともに人に寄り添う身近な存在であるよう日々意識しながら設計に取り組んできました。

今まで学校、庁舎、公民館、図書館、整備工場など様々な用途とその関係者・利用者との出会い設計に携わってきました。中には困難なこともありましたが最後には“よかった”と言ってもらえることが何よりの喜びです。

今後も多くの方との出会い様々な課題に取り組んでいくこととなりますが、寄り添う気持ちは忘れず利用者にとって一番の理解者として建築を設計していきたいと思えます。

■すいせん者

久保 岳
(株)昭和設計
建築設計部 部長

大阪公立大学看護学部学舎整備事業



■社会に開かれた気品のある学舎デザインを計画

神戸市西区総合庁舎



■日常の通り道に面した交流の場の提供など、区民みんなが親しみを持つ庁舎の実現

(仮称) 越木岩センター



■地域住民も交え、まちに開かれ誰もが気軽に使える空間づくりを提案

守口市立さくら小学校



■ボリューム検討、内部構成などプロボ時の数多くの配置兼プラン検討をふまえ、基本・実施設計にてより良い計画の実現